

事業名 CD	0103020301	母子家庭自立支援事業	
細分化した事業名			
事業担当課室 CD	200300	福祉課	整理コード

〈事務事業の位置づけ〉

第6次長期総合計画での目的体系	大項目	将来を担う子どもをのびのび育むまちづくり	
	中項目	子どもを安心して生み、育てられる社会の実現	
	小項目	子育て支援の充実	
関連する個別計画等		根拠条例等	母子及び寡婦福祉法
関連する事業			

〈事務事業の概要〉

事業の目的 (何のためにするのか)	母子家庭の母の主体的な能力開発の取組みを支援し、母子家庭の自立の促進を図る
事業の対象 (誰・何を対象にするか)	市内に居住する母子家庭の母親であって、当該教育訓練を受講することが適職に就くために必要と認められる者
これまでの改善経過	平成16年3月「葦崎市母子家庭自立支援教育訓練給付金事業実施要綱を交付し平成15年4月1日より適用
事業の手段 (どんなやり方(手法)で)	〈実施・運営方法〉 □市 □委託 ■補助金 □その他() 申請に基づき2年以上の過程の養成機関で修業している場合経済的な自立に効果的な資格を支援するために補助金を交付する。
事業の成果 (どのような状態にしたのか) (どのような効果を得るのか)	母子家庭の母の修業を支援することによる、生活の安定を図り、児童の健全な育成へ繋げる。

〈投入費用及び従事職員の推移〉

		20年度	21年度	22年度
A	事業費 (千円)	—	1410	3,434
財源内訳	国庫支出金	—	792	1,551
	県支出金	—	264	1,098
	市債	—		
	その他	—		
	一般財源	—	354	785
B	担当職員数(非常勤 職員E) (人)	—	0.1	0.1
C	人件費(平均人件費×E) (千円)	—	682	672
D	総事業費(A+C) (千円)	—	2,092	4,106
*参考	H22)市民1人当りの事業コスト	149 円	H22)市民1人当りの行政サービス費用	599,027 円

注1)担当職員数には、1年間に当該事業に携わった職員数(職員と非常勤嘱託職員を区分)を他事業と按分して記載してあります。

注2)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した、20年度(6,909千円)、21年度(6,823千円)、22年度(6,719千円)を使用しています。

注3)一般財源とは用途の制限のない財源で、市税(市民税・固定資産税など)、地方交付税(市町村均衡を図るための交付金)などを言います。

〈事業を数字で分析〉 この欄では、事業の目指すべき方向を分りやすく示すため、数値指標を設定し実績数値を記入しています

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			20年度	21年度	22年度
活動指標	技能訓練促進費支給者数 修了支援一時金	(人) (人)		1	2 1
成果指標	希望・申請に対する受給決定率 (辞退・取消し含む)	支給者数/希望者数 (%) (7件/3人)		100.0	42.9
効率指標	技能訓練修了率	修了人員/修了予定者数 (%) (2人/2人)		100.0	100.0

〈事業を自己評価〉

妥当性 (事業の手段・活動は妥当ですか)	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当である <input type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない 一人親家庭の母親自立し生活の安定を図るため、教育訓練費の経済的支援を行っている。		
成果 (意図した成果が上がっていますか)	<input type="checkbox"/> A 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input type="checkbox"/> C 上がっていない 修業費・職業訓練終了支援給付金を交付		
効率性 (コストを見て効率的ですか)	<input type="checkbox"/> A 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ効率的である <input type="checkbox"/> C 効率的でない 制度の周知をする。		
総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input checked="" type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input type="checkbox"/> C 期待以下の達成		
今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 重点化 (コストを集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 手段の改善 (実施主体や実施の手段を代える) <input type="checkbox"/> 効率化 (結果単位あたりのコストを下げる) <input type="checkbox"/> 簡素化 (事業の規模や内容を縮小する) <input type="checkbox"/> 統廃合 (他の事業と統合する、または廃止する) <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり		
改善・改革案	改善・改革の概要・方向性 (いつまでに、どういう形で具体化するのか)		
	(1) 中長期的	(2) 24年度 国において 23年度をもって制度修了予定	(3) 23年度 現行のとおり
	22年度の改善計画		
22年度の改善結果			
市民(地域)や民間、他官庁との役割分担(市民との協働の視点などから考えられること)			
課長所見	国の動向を見ながら今後を検討		